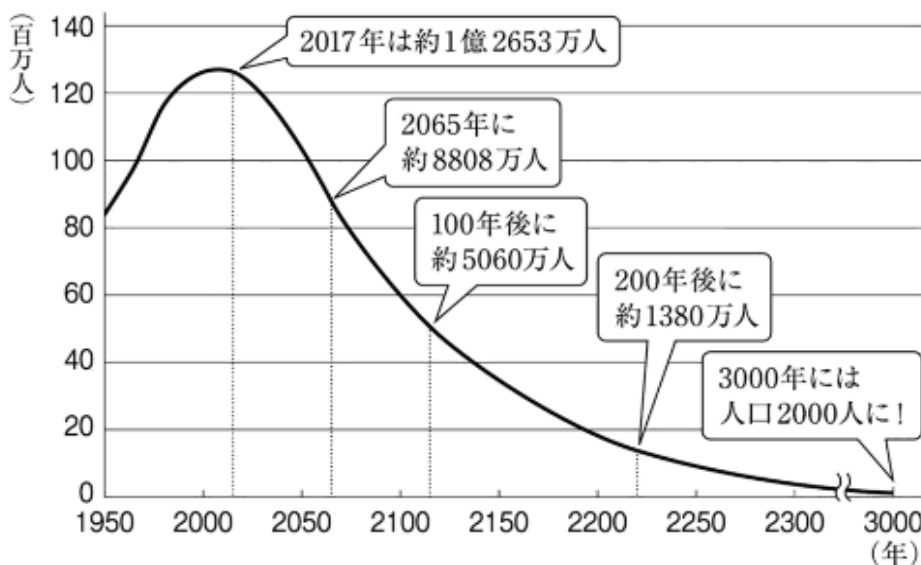


—— 少子高齢化は間違いなく深刻だ ——

今年の桜は寒さも手伝って満開の期間が長かった。おかげで月末から家族で海外に出かけたが、満開の桜を満喫することが出来た。

今回はここで改めて日本の少子高齢化について触れてみたい。私が平均寿命を全うする頃には、日本の人口は1億人を下回っているであろう。ただ、そこに行きつく以前に2024年には3人に1人が65歳以上になり社会保障費が爆発的に伸び、2027年には輸血用血液が不足し、2030年にはIT人材が79万人不足し社会基盤に混乱をきたし、2033年には3戸に1戸が空き家になり、2040年には自治体の半数が消滅する。私が平均寿命に到達する前にやってくる出来事である。今の政治にこれらに対する危機感があるとは微塵も感じることは出来ないのは私だけだろうか。

日本の総人口は急激に減り続ける



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(2017年)より

一方、何やら怪しいデータではインフレ率が語られているが、実感としては間違いなくデフレ。月末にはオーストラリアに行っていたが、ショッピング大好きな妻が「楽天の方が安い」とて、一切、買い物をしなかったのだから“間違いなく”本当の話だ。日本は成長をしていないのである。今の新社会人と丁度30年前の私の初任給はほぼ同じ。こんな国はたぶん日本しかない。単純なソリューションとして、まずは所得を上げることだ。1人の65歳を2人の64歳以下が支えるのだから、64歳以下の所得を上げてあげれば良い。所得を上げる、つまり会社から見れば採算を悪化させる分けだが、「金は天下の回り物」つまりは内需として必ず元に戻ってくる。勿論、いまの中小企業からこれに着手するのは無理があるであろうが、せっかく経団連のような組織があるのだから、大手、しかも「今年はx x千億円の増収増益」と豪語している“今さえ良ければ星人”から着手させるべきだ。ユニクロがやっと「来年度入社の新卒初任給は25万円」と発表した。経済界全体として追随してくれることを強く希望する。採算は一時的に悪化するかも知れないが、未来の日本を救うためにぜひやって欲しい。資金ショートしたら銀行が喜んで貸してくれるではないか。また、その頃には本物のインフレになっているだろうが、その時こそ政府が優遇すれば良いではないか。少子高齢化はもう目の前。避けて通れない。今、手を打たなくてどうする?ひょっとしたらもう手遅れかも知れないが、新2年生となった娘を見ながらこの子をどうやって守っていくか、本気で考えている。

藤井 成厚

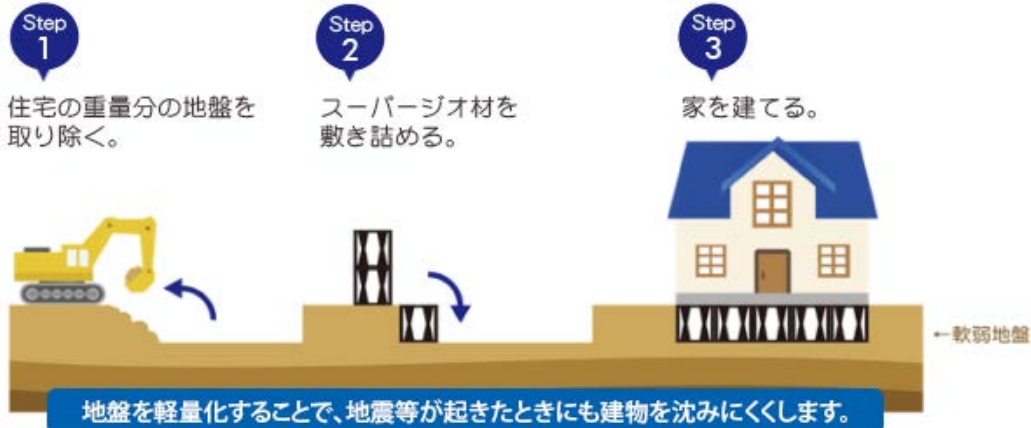
セルドロン案件紹介

■地盤改良の現場

4階建てのマンションを建てる現場から問い合わせがありました。

スーパージオ®工法(※)という地盤補強工法を施工している最中でしたが、地下水位が高く、水を多く含んでしまった土壌の処理に困っておりました。スーパージオ®工法の性質上、セメント改良を行うことはできず、バキューム車で汚泥(泥水)を吸引し、残った泥土をセルドロンで改質し重機が入れるようにしたいとのことでした。現場からは、スーパージオ®工法で困った現場には、セルドロンが合うと思うとのことでした。今後もこのような「セメントが使えない」現場で、セルドロンでのご利用をお勧めいたします。

(※)建物の重量と同等の土を取り除き、そこへスーパージオ材を敷き詰めて地盤を軽量化。その結果、建物を支える力を保つ置換工法です。※地盤の強度によって取り除く量は変わります。直下地盤の圧密沈下を軽減化します。また地震時に、SG内に間隙水を取入れ、水圧による噴砂を防ぎ液状化時に安定化させる効果があります。



■高層ビルの残コン処理

大手ゼネコンでもセルドロンの施工が始まってきている。16階の生コン打設で発生する残コンやモルタル処理にセルドロンを採用した。従来は、大きなプールなどを作り、翌日以降にはつってコンクリートガラとして処分をしていたので、作業時間が多くかかっていた。セルドロンを利用した場合は、打設直後にパラパラにすることが可能になった。今後は、より困っている「繊維入りコンクリート」を使用している現場で試験していくことになった。「繊維入りコンクリート」は、生コンプラントへ戻すことが出来ない場合が多く、現場で処理することになる。一度硬化してしまうと、繊維補強されているため、はつり作業が困難になるそうです。今後、採用され次第続きをお知らせします。



従来のはつり作業



配管に残った生コン



セルドロン改質後の残コン

セルドロン情報

■梅雨時期前にセルドロンを災害備蓄品として

大型連休が過ぎると梅雨の季節が近づきます。セルドロンは建設現場だけでなく、災害復旧の材料として活用できます。大手運輸業様には、倉庫の少量のスペースにセルドロンを備蓄することを提案していております。何か起きる前に、事前に対策を。特に水害の多い地域は、セルドロンが有効かと思えます。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。